

研究資料

徳島阿波おどりの連員を対象とした

「阿波おどりと地域社会との関わり」に関するアンケート調査報告¹⁾

鷺 見 英 司
川 瀬 晃 弘
渡 邊 隼

概 要

本稿は、市民の阿波おどりと関わりとソーシャル・キャピタル（社会関係資本）の実態を学術的に調べることを目的として、2023年6月中旬から7月末にかけて徳島阿波おどりの「連」に属する連員を対象として実施したアンケート調査の結果をまとめたものである。本調査では、2022年12月に徳島市民を対象に実施した「阿波おどりと地域社会との関わり」に関するアンケート調査の調査票を一部改変して用いた。主な結果は、以下の通りである。高い頻度で連の活動に参加した連員の割合は、コロナ禍前の2019年では80%超であったが、コロナ禍の2022年では60%超に低下した。しかし、2023年にはコロナ禍前の水準に回復した。また、コロナ禍では90%弱の連員が練習やおどりの機会が減少したと回答し、そのうち活動量が半分以上まで減少したと回答した割合は60%超であった。ソーシャル・キャピタルについては、付き合い・交流や社会参加の指標はコロナ禍の2022年に低下し、2023年には回復傾向にあることが確認された。信頼についてはほとんど変化が確認されなかった。

I. はじめに

本稿は、市民の阿波おどりと関わりとソーシャル・キャピタル（社会関係資本）の実態を学術的に調べることを目的として、2023年6月中旬から7月末にかけて徳島阿波おどりの「連」に属する連員を対象として実施したアンケート調査（以下、本調査）の結果をまとめたものである。本調査では、2022年12月に徳島市民を対象として実施した「阿波おどりと地域社会との関わり」に関するアンケート調査の調査票を一部改変して用いた。

本調査の実施にあたり、まず、徳島市にぎわい交流課を通じて、二つの阿波おどり連の協会（阿波おどり振興協会、徳島県阿波踊り協会）の連長会の場で有名連²⁾（34連）の連長に調査票を配布（各連25部）

¹⁾ 本調査の実施にあたり、阿波おどり振興協会と徳島県阿波踊り協会の連長、連員の皆様、徳島市にぎわい交流課には多大なるご支援とご協力をいただいた。ここに記して心より感謝申し上げます。本調査は、日本大学経済学部産業経営研究所の助成（令和4年度研究プロジェクト）を受けている。

²⁾ 阿波おどり会館 Web サイトによれば、有名連とは、阿波おどり振興協会や徳島県阿波踊り協会等に加盟し、卓越した技量で観客を魅了する阿波おどり連のことで、毎年8月12日から15日に開催される阿波おどりの本番や阿波おどり会館の公演、県外・海外の観光イベントへの参加等で一年を通じて活動している連を指す。（<https://www.awaodori-kaikan.jp/awaodoriren>：2023年10月1日確認）。

し、つぎに、各連長から連員に回答を依頼する方法をとった。また、配布する際には、連内で性、年齢構成に偏りが生じないように依頼した。調査票は配布数 850 部（34 連× 25 部）に対して、7 月末日までに 376 部が回収され、回収率は 44.2% であった。本調査は、徳島阿波おどりの有名連に所属する 15 歳以上の連員を対象として、コロナ禍前後の連員個人の連の活動との関わり、所属する連の実態、連員個人の地域社会との関わりやソーシャル・キャピタル及び属性に関する設問と、「阿波おどりや地域社会」に関する自由記述を含む 28 問で構成されている。回答時の状況について答えてもらう設問の他に、いくつかの設問は 2019 年、2022 年、2023 年の 3 時点について、2019 年と 2022 年は当時の状況を思い浮かべて、2023 年は 5 月までの状況について回答を求めている。

本稿の構成は以下の通りである。第Ⅱ節では回答の集計結果と回答者属性をまとめている。第Ⅲ節では主な調査結果をまとめている。なお、付録に調査票を掲載する。

Ⅱ. 集計結果

[1] 阿波おどりの連との関わり

表 1 は、連員のコロナ禍前後の連との関わりについてまとめたものである。

問 1 は、連の活動への参加の程度である。2019 年、2022 年、2023 年のいずれも最頻値は「ほぼすべての活動に参加」であるが、2019 年は 58.9% であったものが、2022 年は 44.5% に低下し、2023 年は 58.2% に回復している。「半分程度に参加」、「あまり参加しなかった」、「まったく参加しなかった」を合わせた割合は、2022 年は 36.3% であり、2019 年の同割合が 18.1% であることから、コロナ禍において連員の活動が制限されたことが確認される。

問 2 は、現在の連に所属したきっかけである。多重回答形式であり、376 名の回答者が 439 の回答、つまり 1 回答者が平均 1.2 個（回答者割合 116.8%）の回答を行っていることから、連に所属するきっかけは、複数あるというよりは一つであることが確認できる。最頻値は「連の知人に誘われたから」であり、ついで「自分で参加したいと思ったから」である。

問 3 は、現在の連に所属した時期である。最頻値は「社会人になってから」で 71.1% である。

問 4 は、現在の連に所属した年数である。最頻値は「20 年以上」で 35.7% であり、10 年以上が 65% 程度である。

問 5 は、連の活動にかかる年間の費用を、会費、踊り衣装一式、鳴り物一式に分けている。(a) 会費は最頻値が 3,000 円で、2,000 円、3,000 円、5,000 円で複数のピークが見られるが、中央値も最頻値と同じ 3,000 円である。(b) 踊り衣装一式は 800 円から 10 万円のレンジがあり、3,000 円、5,000 円と 1 万円で複数のピークが見られるが、中央値は最頻値と同じ 5,000 円である。(c) 鳴り物一式は 200 円から 20 万円のレンジがあり、中央値は 6,000 円である。

表1. 阿波おどりの連との関わり

問1 連の活動への参加の程度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
ほぼすべての活動に参加	212	163	214	58.9%	44.5%	58.2%
多くの活動に参加	83	70	80	23.1%	19.1%	21.7%
半分程度に参加	29	43	41	8.1%	11.7%	11.1%
あまり参加しなかった	11	45	25	3.1%	12.3%	6.8%
まったく参加しなかった	25	45	8	6.9%	12.3%	2.2%
計	360	366	368	100.0%	100.0%	100.0%

問2 現在の連に所属したきっかけ

	回答数	回答数 割合	回答者 割合
連の知人から誘われたから	151	34.4%	40.2%
友達に誘われたから	69	15.7%	18.4%
家族に誘われたから	71	16.2%	18.9%
地域や町内会で誘われたから	1	0.2%	0.3%
自分で参加したいと思ったから	138	31.4%	36.7%
その他	9	2.1%	2.4%
回答数計	439	100.0%	116.8%
回答者計	376		

問3 現在の連に所属した時期

	回答数	割合
小学生かそれ以前から	38	10.2%
中学生の頃から	13	3.5%
高校生の頃から	28	7.5%
高校卒業後の学生の頃から	27	7.2%
社会人になってから	266	71.1%
その他	2	0.5%
計	374	100.0%

問4 現在の連に所属した年数

	回答数	割合
1年未満	14	3.7%
1-3年未満	15	4.0%
3-5年未満	23	6.1%
5-10年未満	80	21.3%
10-20年未満	109	29.1%
20年以上	134	35.7%
計	375	100.0%

問5 (a) 連の活動にかかる年間費用 : 会費

	回答数	割合
500円	2	0.9%
1,000	2	0.9%
1,500	2	0.9%
2,000	22	9.6%
2,400	3	1.3%
2,500	5	2.2%
3,000	97	42.2%
3,500	3	1.3%
3,600	9	3.9%
4,000	7	3.0%
4,500	1	0.4%
5,000	69	30.0%
6,000	1	0.4%
9,000	1	0.4%
10,000	6	2.6%
計	230	100.0%

問5 (b) 連の活動にかかる年間費用 : 踊り衣装一式

	回答数	割合
800円	1	0.3%
1,000	17	5.7%
1,500	2	0.7%
2,000	23	7.7%
3,000	39	13.1%
4,000	8	2.7%
4,500	1	0.3%
5,000	77	25.8%
6,000	5	1.7%
7,000	3	1.0%
7,500	4	1.3%
8,000	5	1.7%
9,000	1	0.3%
10,000	71	23.8%
12,000	1	0.3%
13,000	1	0.3%
15,000	11	3.7%
16,000	1	0.3%
20,000	15	5.0%
23,100	1	0.3%
25,000	1	0.3%
27,650	1	0.3%
30,000	3	1.0%
35,000	1	0.3%
40,000	2	0.7%
50,000	1	0.3%
80,000	1	0.3%
100,000	1	0.3%
計	298	100.0%

問5 (c) 連の活動にかかる年間費用 : 囃り物一式

	回答数	割合
200円	1	1.5%
300	1	1.5%
1,000	4	5.9%
1,500	1	1.5%
2,000	2	2.9%
2,500	1	1.5%
3,000	10	14.7%
3,500	1	1.5%
4,000	1	1.5%
5,000	8	11.8%
6,000	5	7.4%
10,000	6	8.8%
12,000	1	1.5%
15,000	4	5.9%
17,000	1	1.5%
20,000	7	10.3%
30,000	3	4.4%
40,000	1	1.5%
50,000	5	7.4%
60,000	2	2.9%
100,000	1	1.5%
200,000	2	2.9%
計	68	100.0%

[2] 所属する連について

表2は、コロナ禍前後の所属する連の活動や課題についてまとめたものである。

問6は、所属する連の人数である。最頻値は「50-100人未満」で60.9%である。

問7は、コロナ禍で起きた連の活動の変化である。多重回答形式であり、368名の回答者が1,372の回答、つまり1回答者が平均3.7個（回答者割合372.8%）の回答を行っている。「練習に参加できる連員が減少した」と「おどりを披露する機会が減少した」が高く、回答者割合で見ると、回答者の86%程度が同回答をコロナ禍における活動の変化に挙げている。

問8は、コロナ禍前と比較した2022年の練習機会とおどりの機会である。これは、コロナ禍で起きた連の活動の変化として、「練習に参加できる連員が減少した」と「おどりを披露する機会が減少した」を挙げた回答者を対象としている。練習の機会も、おどりを披露する機会も「少し（1-2割）減少」が最も少なく、それ以上の減少に広く回答が分布していることから、どちらの機会も大きくコロナ禍で奪われたことが確認できる。

問9は、連の活動における今後の課題である。多重回答形式であり、373名の回答者が1,308の回答、つまり1回答者が平均3.5個（回答者割合350.7%）の回答を行っている。「連員数の確保」と「若い連員の確保」が高く、回答者割合で見ると、それぞれ回答者の86.9%と75.1%が同回答を連の活動の今後の課題として挙げている。

表2. 所属する連について

問6 所属する連の人数

	回答数	割合
50人未満	26	7.0%
50-100人未満	226	60.9%
100-150人未満	73	19.7%
150人以上	46	12.4%
計	371	100.0%

問7 コロナ禍で起きた連の活動の変化

	回答数	回答者割合	回答者割合
特に変化はなかった	2	0.1%	0.5%
連を辞める人が増えた	146	10.6%	39.7%
練習場所が確保できなかった	41	3.0%	11.1%
練習や会合が減少した	258	18.8%	70.1%
練習に参加できる連員が減少した	319	23.3%	86.7%
おどりを披露する機会が減少した	318	23.2%	86.4%
連員同士の交流が減少した	270	19.7%	73.4%
その他	18	1.3%	4.9%
回答数計	1,372	100.0%	372.8%
回答者計	368		

問8 コロナ禍前と比較した2022年の練習機会とおどりの機会

	練習 回答数	おどり 回答数	練習 割合	おどり 割合
少し(1-2割)減少	40	21	12.3%	6.3%
ある程度(3-4割)減少	66	58	20.2%	17.5%
半分程度減少	72	61	22.1%	18.4%
かなり(6-7割)減少	80	100	24.5%	30.1%
ほとんど(8割以上)なくなった	68	92	20.9%	27.7%
計	326	332	100.0%	100.0%

問9 連の活動における今後の課題

	回答数	回答数 割合	回答者 割合
特に課題はない	6	0.5%	1.6%
連員数の確保	324	24.8%	86.9%
連員の高齢化	157	12.0%	42.1%
若い連員の確保	280	21.4%	75.1%
活動資金の確保	98	7.5%	26.3%
おどりを披露する機会の確保	113	8.6%	30.3%
練習場所の確保	84	6.4%	22.5%
伝統技能の継承	134	10.2%	35.9%
活動への社会や住民等の理解	87	6.7%	23.3%
その他	25	1.9%	6.7%
回答数計	1,308	100.0%	350.7%
回答者計	373		

[3] 地域社会との関わりとソーシャル・キャピタル

表3は、連員の地域社会との関わりとソーシャル・キャピタルについてまとめたものである。なお、問11から問15の生活の質（Quality of Life：QOL）やソーシャル・キャピタルに関する設問は、コロナ禍前の2019年、コロナ禍の2022年と2023年の3時点の回答を求めている。

問10は、居住する地域・町内への愛着である。最頻値は「愛着を感じている」で54.0%である。「少しは愛着を感じている」と合わせると、82.1%がポジティブな回答を行っている。

問11は、生活全般と健康状態への満足度である。(a)生活全般への満足度の最頻値はいずれも5であるが、4以下を選択した割合は、2019年は7.2%であるが、2022年は36.1%に増加し、2023年は16.3%に低下している。他方、6以上の割合は、2019年は52.8%であるが、2022年は27.2%に減少し、2023年は44.6%に回復している。(b)健康状態への満足度は、最頻値はいずれも5であるが、4以下を選択した割合は、2019年は8.5%であるが、2022年は26.0%に増加し、2023年は15.0%に低下している。他方、6以上の割合は、2019年は47.9%であるが、2022年は32.0%に減少し、2023年は41.4%に回復している。

問12は、家族と買い物や外食をする頻度と友人と学校・職場以外で会う頻度である。(a)家族と買い物や外食をする頻度の最頻値はいずれの年も「月に1回～数回程度」であるが、「週に1回以上」と合わせた割合は、2019年は79.1%であるが、2022年は62.5%に低下し、2023年は75.2%に増加している。(b)友人と学校・職場以外で会う頻度の最頻値はいずれの年も「月に1回～数回程度」であるが、「週に1回以上」と合わせた選択割合は、2019年は62.2%であるが、2022年は35.3%に低下し、2023年は51.1%に増加している。

問13は、近所の人との付き合いと学校や職場の人との付き合いである。(a)近所の人との付き合いの最頻値はいずれも「あいさつ程度の付き合い」であるが、より緊密な付き合い（「家族と同じような付き合い」、「相談したり、生活面でも協力」、「日常的に立ち話をする」）は2022年のコロナ禍で最も低下している。(b)学校や職場の人との付き合いの最頻値はいずれの年も「日常的に立ち話をする」であるが、より緊密な付き合いは2022年のコロナ禍で最も低下している。

問14は、同じ地域・町内の顔見知りの人、同じ地域・町内の他人で知らない人、地域外・町外の他人で知らない人への信頼度である。(a)同じ地域・町内の顔見知りの人への信頼度は、最頻値はいずれの年も「ある程度信頼できる」であるが、コロナ禍前後で大きな変化は確認されない。(b)同じ地域・

町内の他人で知らない人への信頼度は、最頻値はいずれの年も「ほとんど信頼できない」であるが、コロナ禍前後で大きな変化は確認されない。(c) 地域外・町外の他人で知らない人への信頼度は、最頻値はいずれの年も「まったく信頼できない」であるが、コロナ禍前後で大きな変化は確認されない。

問 15 は、阿波おどり以外の、地域の活動、ボランティア活動や市民活動、スポーツや趣味等の活動への参加度である。(a) 地域の活動への参加度は、最頻値はいずれの年も「活動が身近にない」であるが、高い参加頻度（「週に1回以上」や「月に1回～数回程度」）の割合は2022年のコロナ禍で最も低下している。(b) ボランティア活動や市民活動への参加度の最頻値はいずれの年も「活動が身近にない」であるが、高い参加頻度の割合は2022年のコロナ禍で最も低下している。(c) スポーツや趣味等の活動への参加度の最頻値は、2019年と2023年は「週に1回以上」であるが、2022年は「まったく参加していない」である。コロナ禍の2022年は「まったく参加していない」の割合が増加し、「週に1回以上」の割合が低下している。

表3. 地域社会との関わりとソーシャル・キャピタル

問10 居住する地域・町内への愛着

	回答数	割合
愛着を感じている	202	54.0%
少しは愛着を感じている	105	28.1%
どちらともいえない	49	13.1%
あまり愛着を感じていない	13	3.5%
愛着を感じていない	5	1.3%
計	374	100.0%

問11 (a) 生活全般への満足度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
0	3	10	2	0.8%	2.8%	0.6%
1	0	6	0	0.0%	1.7%	0.0%
2	3	28	7	0.8%	7.8%	1.9%
3	10	47	21	2.8%	13.1%	5.8%
4	10	39	29	2.8%	10.8%	8.0%
5	144	132	142	40.0%	36.7%	39.1%
6	25	22	36	6.9%	6.1%	9.9%
7	41	29	40	11.4%	8.1%	11.0%
8	62	24	47	17.2%	6.7%	12.9%
9	27	12	17	7.5%	3.3%	4.7%
10	35	11	22	9.7%	3.1%	6.1%
計	360	360	363	100.0%	100.0%	100.0%

問11 (b) 健康状態への満足度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
0	5	9	3	1.4%	2.5%	0.8%
1	0	6	1	0.0%	1.6%	0.3%
2	4	17	9	1.1%	4.6%	2.5%
3	7	31	15	1.9%	8.5%	4.1%
4	15	32	27	4.1%	8.7%	7.4%
5	159	154	160	43.6%	42.1%	43.6%
6	17	26	25	4.7%	7.1%	6.8%
7	25	21	36	6.8%	5.7%	9.8%
8	61	38	44	16.7%	10.4%	12.0%
9	32	15	20	8.8%	4.1%	5.4%
10	40	17	27	11.0%	4.6%	7.4%
計	365	366	367	100.0%	100.0%	100.0%

問12 (a) 家族と買い物や外食をする頻度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
週に1回以上	133	66	111	35.8%	17.8%	29.9%
月に1回～数回程度	161	166	168	43.3%	44.7%	45.3%
半年に1回～数回程度	36	65	47	9.7%	17.5%	12.7%
年に1回～数回程度	21	40	28	5.6%	10.8%	7.5%
数年に1回～数回程度	7	11	6	1.9%	3.0%	1.6%
まったくない	14	23	11	3.8%	6.2%	3.0%
計	372	371	371	100.0%	100.0%	100.0%

問12 (b) 友人と学校・職場以外で会う頻度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
週に1回以上	75	35	61	20.3%	9.4%	16.4%
月に1回～数回程度	155	96	129	41.9%	25.9%	34.7%
半年に1回～数回程度	66	80	93	17.8%	21.6%	25.0%
年に1回～数回程度	34	74	50	9.2%	19.9%	13.4%
数年に1回～数回程度	22	29	17	5.9%	7.8%	4.6%
まったくない	18	57	22	4.9%	15.4%	5.9%
計	370	371	372	100.0%	100.0%	100.0%

問13 (a) 近所の人との付き合い

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
家族と同じような付き合い	8	5	6	2.1%	1.3%	1.6%
相談したり、生活面でも協力	14	11	20	3.7%	2.9%	5.3%
日常的に立ち話をする	84	66	83	22.5%	17.6%	22.1%
あいさつ程度の付き合い	230	241	221	61.5%	64.4%	58.9%
まったく付き合い合っていない	38	51	45	10.2%	13.6%	12.0%
計	374	374	375	100.0%	100.0%	100.0%

問13 (b) 学校や職場の人との付き合い

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
家族と同じような付き合い	10	9	11	2.7%	2.5%	3.0%
相談したり、生活面でも協力	90	79	90	24.6%	21.6%	24.5%
日常的に立ち話をする	212	199	204	57.9%	54.4%	55.6%
あいさつ程度の付き合い	46	70	52	12.6%	19.1%	14.2%
まったく付き合い合っていない	8	9	10	2.2%	2.5%	2.7%
計	366	366	367	100.0%	100.0%	100.0%

問14 (a) 同じ地域・町内の顔見知りの人への信頼度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
とても信頼できる	6	5	7	1.6%	1.3%	1.9%
信頼できる	77	77	75	20.5%	20.5%	20.0%
ある程度信頼できる	224	219	222	59.7%	58.4%	59.2%
ほとんど信頼できない	51	56	55	13.6%	14.9%	14.7%
まったく信頼できない	17	18	16	4.5%	4.8%	4.3%
計	375	375	375	100.0%	100.0%	100.0%

問14 (b) 同じ地域・町内の他人で知らない人への信頼度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
とても信頼できる	0	1	1	0.0%	0.3%	0.3%
信頼できる	5	4	4	1.3%	1.1%	1.1%
ある程度信頼できる	99	96	98	26.5%	25.7%	26.2%
ほとんど信頼できない	176	176	181	47.1%	47.2%	48.4%
まったく信頼できない	94	96	90	25.1%	25.7%	24.1%
計	374	373	374	100.0%	100.0%	100.0%

問14 (c) 地域外・町外の他人で知らない人への信頼度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
とても信頼できる	0	1	1	0.0%	0.3%	0.3%
信頼できる	3	3	3	0.8%	0.8%	0.8%
ある程度信頼できる	61	61	63	16.3%	16.4%	16.8%
ほとんど信頼できない	154	150	153	41.2%	40.2%	40.9%
まったく信頼できない	156	158	154	41.7%	42.4%	41.2%
計	374	373	374	100.0%	100.0%	100.0%

問15 (a) 地域の活動への参加度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
週に1回以上	0	1	4	0.0%	0.3%	1.1%
月に1回～数回程度	20	9	18	5.3%	2.4%	4.8%
半年に1回～数回程度	27	22	27	7.2%	5.9%	7.2%
年に1回～数回程度	49	37	37	13.1%	10.0%	9.9%
数年に1回～数回程度	43	28	33	11.5%	7.6%	8.8%
まったく参加していない	85	107	96	22.7%	28.9%	25.7%
活動が身近にない	150	166	158	40.1%	44.9%	42.4%
計	374	370	373	100.0%	100.0%	100.0%

問15 (b) ボランティア活動や市民活動への参加度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
週に1回以上	3	3	4	0.8%	0.8%	1.1%
月に1回～数回程度	14	11	14	3.7%	3.0%	3.8%
半年に1回～数回程度	19	10	19	5.1%	2.7%	5.1%
年に1回～数回程度	32	22	29	8.6%	5.9%	7.8%
数年に1回～数回程度	34	28	27	9.1%	7.5%	7.3%
まったく参加していない	114	137	121	30.5%	36.9%	32.5%
活動が身近にない	158	160	158	42.2%	43.1%	42.5%
計	374	371	372	100.0%	100.0%	100.0%

問15 (c) スポーツや趣味等の活動への参加度

	2019年 回答数	2022年 回答数	2023年 回答数	2019年 割合	2022年 割合	2023年 割合
週に1回以上	80	52	79	21.4%	13.9%	21.2%
月に1回～数回程度	74	70	68	19.8%	18.7%	18.2%
半年に1回～数回程度	24	30	31	6.4%	8.0%	8.3%
年に1回～数回程度	36	31	32	9.6%	8.3%	8.6%
数年に1回～数回程度	26	27	21	7.0%	7.2%	5.6%
まったく参加していない	59	84	68	15.8%	22.5%	18.2%
活動が身近にない	75	80	74	20.1%	21.4%	19.8%
計	374	374	373	100.0%	100.0%	100.0%

〔4〕 回答者属性

表4は、回答者の属性についてまとめたものである。なお、「阿波おどりと地域社会との関わり」に関するアンケート調査は、本来、徳島市民を対象とした調査であるが、連員調査については、居住地に関係なく、二つの協会の有名連に属する個人に回答を依頼している。

問16は、性別であり、男性49.1%、女性50.4%、その他0.5%である。

問17は、居住地であり、回答者の66.7%が徳島市民、32.0%が県内市町村居住者、1.3%が県外居住者である。

問18は、徳島市民の連員の居住地区である。「北井上地区」以外に居住しており、「加茂名地区」が最頻値である。

問19は、居住地での居住年数である。5年未満が少なく全体の17.5%であり、他方30年以上は29.5%である。

問20は、学歴であり、「高等学校卒」が最頻値であり、ついで「大学卒」の割合が高い。

問21は、コロナ禍前の2019年とコロナ禍の2022年における世帯（生計を共にしている）人数である。2019年は「4人」が最頻値であるが、2022年は「3人」が最頻値である。

問22は、2019年と2022年における世帯構成であり、いずれの年でも「親と末子18歳未満」が最頻値であり、ついで「親と末子18歳以上」が多い。

問23は、2019年と2022年における年齢区分である。いずれの年でも「40歳代」が最頻値であり、30歳代以下は40%前後である。

問24は、2019年と2022年における主な職業である。いずれの年でも「正社員」が60%弱で最頻値である。

問25は、2019年と2022年における婚姻状況である。いずれの年でも「既婚」が60%前後で最頻値であり、「未婚」が30%程度である。

問26は、2019年と2022年における住まいの状況である。いずれの年でも「持家・戸建て」が70%前後で最頻値であり、ついで「借家・集合住宅」が20%程度である。

問27は、2019年と2022年における世帯年収である。2019年は「500-600万円未満」が12.8%で最頻値であるが、2022年は「300-400万円未満」、「400-500万円未満」、「500-600万円未満」が13.6%で最頻値となったものの、コロナ禍前後で年収分布に大きな変化は確認されない。

表 4. 回答者属性

問16 性別

	回答数	割合
男性	184	49.1%
女性	189	50.4%
その他	2	0.5%
計	375	100.0%

問17 居住地

	回答数	割合
徳島市	250	66.7%
県内市町村	120	32.0%
県外	5	1.3%
計	375	100.0%

問18 徳島市内の居住地区

	回答数	割合
内町地区	7	2.9%
新町地区	2	0.8%
西富田地区	5	2.1%
東富田地区	9	3.7%
昭和地区	11	4.5%
渭東地区	18	7.4%
渭北地区	20	8.3%
佐古地区	13	5.4%
沖洲地区	10	4.1%
津田地区	9	3.7%
加茂名地区	34	14.0%
加茂地区	16	6.6%
八万地区	17	7.0%
勝占地区	10	4.1%
多家良地区	6	2.5%
不動地区	6	2.5%
入田地区	4	1.7%
上八万地区	10	4.1%
川内地区	12	5.0%
応神地区	3	1.2%
国府地区	19	7.9%
南井上地区	1	0.4%
北井上地区	0	0.0%
計	242	100.0%

問19 居住地での居住年数

	回答数	割合
3年未満	37	9.8%
3-5年未満	29	7.7%
5-10年未満	50	13.3%
10-20年未満	91	24.2%
20-30年未満	58	15.4%
30年以上	111	29.5%
計	376	100.0%

問20 学歴

	回答数	割合
中学校卒	14	3.7%
高等学校卒	130	34.7%
専修・短大卒	91	24.3%
大学卒	115	30.7%
大学院卒	15	4.0%
その他	10	2.7%
計	375	100.0%

問21 世帯(生計を共にしている)人数

	2019年 回答数	2022年 回答数	2019年 割合	2022年 割合
1人	44	48	12.1%	13.2%
2	75	84	20.5%	23.1%
3	92	100	25.2%	27.5%
4	106	90	29.0%	24.7%
5	24	25	6.6%	6.9%
6	18	15	4.9%	4.1%
7	5	1	1.4%	0.3%
8	1	1	0.3%	0.3%
計	365	364	100.0%	100.0%

問22 世帯構成

	2019年 回答数	2022年 回答数	2019年 割合	2022年 割合
単身	44	48	12.0%	13.2%
夫婦のみ	62	71	16.9%	19.6%
親と末子18歳未満	128	110	34.9%	30.3%
親と末子18歳以上	95	101	25.9%	27.8%
三世帯世帯	32	26	8.7%	7.2%
その他	6	7	1.6%	1.9%
計	367	363	100.0%	100.0%

問23 年齢区分

	2019年 回答数	2022年 回答数	2019年 割合	2022年 割合
10歳代	31	15	8.3%	4.0%
20歳代	51	57	13.6%	15.2%
30歳代	74	66	19.7%	17.6%
40歳代	104	99	27.7%	26.4%
50歳代	76	80	20.3%	21.3%
60歳代	27	40	7.2%	10.7%
70歳代前半	10	13	2.7%	3.5%
75歳以上	2	5	0.5%	1.3%
計	375	375	100.0%	100.0%

問24 主な職業

	2019年 回答数	2022年 回答数	2019年 割合	2022年 割合
会社役員	19	24	5.1%	6.5%
正社員	219	217	58.6%	58.3%
自営業者	26	30	7.0%	8.1%
非正規雇用者	51	55	13.6%	14.8%
失業	1	1	0.3%	0.3%
無職	8	11	2.1%	3.0%
専業主婦・主夫	11	10	2.9%	2.7%
学生	38	23	10.2%	6.2%
その他	1	1	0.3%	0.3%
計	374	372	100.0%	100.0%

問25 婚姻状況

	回答数	回答数	割合	割合
既婚	218	225	58.1%	60.5%
離・死別	30	35	8.0%	9.4%
未婚	127	112	33.9%	30.1%
	375	372	100.0%	100.0%

問26 住まいの状況

	2019年 回答数	2022年 回答数	2019年 割合	2022年 割合
持家・戸建て	260	266	69.9%	71.7%
持家・集合住宅	22	20	5.9%	5.4%
借家・戸建て	12	10	3.2%	2.7%
借家・集合住宅	76	75	20.4%	20.2%
その他	2	0	0.5%	0.0%
計	372	371	100.0%	100.0%

問27 世帯年収

	2019年 回答数	2022年 回答数	2019年 割合	2022年 割合
100万円未満	13	5	3.6%	1.4%
100-200万円未満	17	23	4.7%	6.5%
200-300万円未満	38	33	10.6%	9.3%
300-400万円未満	38	48	10.6%	13.6%
400-500万円未満	43	48	12.0%	13.6%
500-600万円未満	46	48	12.8%	13.6%
600-700万円未満	36	36	10.1%	10.2%
700-800万円未満	31	28	8.7%	7.9%
800-900万円未満	32	27	8.9%	7.6%
900-1000万円未満	17	19	4.7%	5.4%
1000-1200万円未満	24	23	6.7%	6.5%
1200-1500万円未満	16	6	4.5%	1.7%
1500-2000万円未満	5	9	1.4%	2.5%
2000万円以上	2	1	0.6%	0.3%
計	358	354	100.0%	100.0%

Ⅲ. おわりに

本稿は、阿波おどりの有名連に属する連員のコロナ禍前後における阿波おどりととの関わりとソーシャル・キャピタルの実態を明らかにすることを目的としたアンケート調査の集計結果をまとめたものである。主な点をまとめると以下の通りである。

まず、回答者属性を見ると、性別は男女がほぼ同数であり、年齢区分では30-50歳代で全体の65%程度、20歳代以下と60歳代以上は合わせて35%程度を占めた。回答者の80%超が二人以上の世帯で暮らし、60%程度が既婚者である。70%程度が持家・戸建てに暮らし、45%程度が20年以上の居住年数を有している。

つぎに、連員のコロナ禍前後における阿波おどりととの関わりについてまとめると、第1に、連員の活動への参加度を見ると、「ほぼすべての活動に参加」と「多くの活動に参加」を合わせた割合が、コロナ禍前の2019年は82.0%であったのに対して、コロナ禍の2022年では63.6%となり、コロナ禍においては連員の活動が制限されたことが確認された。一方で、2023年の同割合はコロナ禍前と同水準の80.0%まで回復している。第2に、コロナ禍で受けた連の活動の主な制約は、「練習に参加できる連員の減少」や「おどりを披露する機会の減少」であり、86%程度の連員が回答した。そのうち、練習とおどりの量が半分以上減少したと回答した連員の割合はそれぞれ67.5%と76.2%に及んだ。第3に、連の活動における今後の課題については、86.9%が「連員数の確保」、75.1%が「若い連員の確保」を挙げており、活動を維持するためには、若年層へのすそ野拡大が課題であることが確認された。

さらに、連員のコロナ禍前後におけるソーシャル・キャピタルの実態についてまとめると、第1に、

定住意向や地域活動への積極性を示す地域への愛着は、80%超が愛着を感じていると回答し、愛着が強いことが確認された。第2に、QOLを示す生活全般や健康状態への満足度については、コロナ禍の2022年はコロナ禍前（2019年）よりも低下したものの、2023年には回復傾向にあることが確認された。第3に、付き合い・交流を示す家族や友人と出かける頻度、近所の人との付き合いや学校や職場の人との付き合いについても、コロナ禍の2022年の満足度はコロナ禍前（2019年）よりも低下し、2023年には回復傾向にあることが確認された。第4に、信頼については、同じ地域・町内の顔見知りの人、同じ地域・町内の他人で知らない人、地域外・町外の他人で知らない人への信頼のいずれも、コロナ禍前後で大きな変化は確認されなかった。第5に、社会参加を示す地域活動、ボランティア活動や、個人的なつながりを示すスポーツや趣味の活動についてはいずれも、コロナ禍の2022年にはコロナ禍前（2019年）と2023年よりも低下したことが確認された。

IV. 付録：調査票

阿波おどりの連に所属する皆様へ

阿波おどりと地域社会との関わりについての アンケート協力をお願い

日頃より、徳島市政の推進にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この度、徳島市と日本大学経済学部は共同で、市民の皆様の阿波おどりと関わりが、人と人とのつながりや日常生活などに与える影響を調査することを通じて、徳島の伝統文化である阿波おどりの意義を学術的に明らかにすることを目的に、アンケート調査を実施することといたしました。

本調査は、阿波おどりの連に属する 15 歳以上の市民の方にご協力をお願いしております。調査の結果については、今後の阿波おどりや本市観光に関する施策、広報に活用するとともに、2023 年刊行の日本大学等で発行される学術雑誌を通じて公表する予定としています。ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、回答内容から個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ありません。なお、本調査は、日本大学経済学部産業経営研究所の助成（令和 4 年度 研究プロジェクト）を受けて実施しています。

お忙しいところ、お手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

ご記入に際してのご説明

1. 本調査は、現在、連に所属されている 15 歳以上の方を対象としています。
2. いくつかの設問は、新型コロナウイルスの感染拡大前(2019 年)、昨年(2022 年)、今年(2023 年)で分けてお答えください。なお、感染拡大前(2019 年)と昨年(2022 年)は当時の状況を思い浮かべて、今年(2023 年)は 5 月までの状況をお答えください。
3. ご回答は、あてはまる選択肢の番号を○印で囲んでください。
4. 特に注釈がない質問については、あてはまる選択肢一つだけを選んでください。
5. 回答の中で、「その他」を選んだ場合は、()内などに具体的な内容をご記入ください。
6. ご記入いただいた調査票は、受け取り後、3週間後までに同封の返信用封筒でご返送ください。
なお、返信用封筒の切手は不要です。

◆あなたの阿波おどりの連との関わりについてお聞きします。

(問 1) あなたはコロナ禍の前後で8月の阿波おどり本番までに連の活動にどの程度参加しましたか。

※新型コロナウイルス感染拡大前(2019年)、昨年(2022年)、今年(2023年)で分けてお答えください。

※今年(2023年)は5月までの状況をお答えください。

	感染拡大前(2019年)					昨年(2022年)					今年(2023年)				
	ほぼ全ての活動に参加	多くの活動に参加した	半分程度参加した	あまり参加しなかった	全く参加しなかった	ほぼ全ての活動に参加	多くの活動に参加した	半分程度参加した	あまり参加しなかった	全く参加しなかった	ほぼ全ての活動に参加	多くの活動に参加した	半分程度参加した	あまり参加しなかった	全く参加しなかった
記入例	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
参加の頻度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(問 2) あなたが、現在の連に所属した「きっかけ」を次の中から選んでください。

※あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 連の知人から誘われたから	2. 友達に誘われたから	3. 家族に誘われたから
4. 地域の集まりや町内会等で誘われたから	5. 自分自身で参加したいと思ったから	
6. その他 (具体的に)		

(問 3) あなたはいつから、現在の連に所属しましたか。

1. 小学生かそれ以前から	2. 中学生の頃から	3. 高校生の頃から
4. 高校卒業後の学生の頃から		5. 社会人になってから
6. その他 (具体的に)		

(問 4) 現在の連に所属して何年になりますか。

1. 1年未満	2. 1年～3年未満	3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満	5. 10年～20年未満	6. 20年以上

(問 5) あなた自身の連の活動のために、年間いくら負担をしていますか。

※月単位で生じる費用や数年にわたって使用するものは、1年あたりに換算してください。

また、ご家族全体ではなく、あなた個人のために負担した額をお答えください。

1. 会費	年間	円
2. 踊り衣装一式(網笠、下駄、足袋等含む)	年間	円
3. 鳴り物一式	年間	円
4. その他(具体的に)	年間	円
5. その他(具体的に)	年間	円
6. その他(具体的に)	年間	円

◆あなたが所属する連についてお聞きします。

(問 6) あなたが所属する連の連員数はどの程度ですか。

1. 50 人未満	2. 50～100 人未満	3. 100～150 人未満	4. 150 人以上
-----------	---------------	----------------	------------

(問 7) コロナ禍で連の活動にどのような変化が起きましたか。その他には、選択肢以外の変化や好ましい変化があれば、具体的に記入してください。※あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 特に変化はなかった	2. 連を辞める人が増えた	3. 練習場所が確保できなかった
4. 練習やミーティングが減少した	5. 家庭や仕事の事情で練習に参加できる連員が減少した	
6. おどりを披露する機会が減少した	7. 連員同士の交流(懇親会等)が減少した	
8. その他(具体的に)		

(問 8) 問 7 で、練習やおどりを披露する機会が減少した(選択肢4または選択肢6)と回答した方にお聞きします。新型コロナウイルス感染拡大前(2019 年)と比較して、コロナ禍で練習やおどりの機会はどの程度減少しましたか。

① 昨年(2022 年)の練習 (感染拡大前(2019 年)との比較)

1. 少し(1 割～2 割)減少	2. ある程度(3 割～4 割)減少	3. 半分程度(5 割程度)減少
4. かなり(6 割～7 割)減少	5. ほとんど(8 割以上)無くなった	

② 昨年(2022 年)のおどりを披露する機会 (感染拡大前(2019 年)との比較)

1. 少し(1 割～2 割)減少	2. ある程度(3 割～4 割)減少	3. 半分程度(5 割程度)減少
4. かなり(6 割～7 割)減少	5. ほとんど(8 割以上)無くなった	

(問 9) あなたが所属する連では、今後の活動にあたってどのような課題があると思いますか。

※あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 特に課題はない	2. 連員数の確保	3. 連員の高齢化
4. 若い連員の確保	5. 活動資金の確保	6. おどりを披露する機会の確保
7. 練習場所の確保	8. 伝統技能の継承	9. 活動への社会や住民等の理解
10. その他 (その他に具体的な課題があれば、以下に自由にご記入ください)		

◆あなたと地域社会との関わりについてお聞きします。

(問 10) あなたは現在、居住する地域・町内に愛着を感じていますか。

1. 愛着を感じている	2. 少しは愛着を感じている	3. どちらともいえない
4. あまり愛着を感じていない	5. 愛着を感じていない	

問 11～問 15 は感染拡大前(2019年)と昨年(2022年)、今年(2023年)で分けてお答えください。

(問 11) あなた自身の生活全般や健康状態について、最も不満な状態を「0点」、最も満足な状態を「10点」とした場合、あなたが感じる満足度に最もあてはまる数値に○をつけてください。

	感染拡大前(2019年)										昨年(2022年)										今年(2023年)												
	最も不満					普通					最も満足	最も不満					普通					最も満足	最も不満					普通					最も満足
記入例	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
生活全般	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
健康状態	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

(問 12) あなたは日頃、家族や友人と一緒にどの程度出かけたり、会ったりしていますか。

	感染拡大前(2019年)						昨年(2022年)						今年(2023年)					
	週に1回以上	月に1回 数回程度	半年に1回 数回程度	年に1回 数回程度	数年に1回 数回程度	全くない	週に1回以上	月に1回 数回程度	半年に1回 数回程度	年に1回 数回程度	数年に1回 数回程度	全くない	週に1回以上	月に1回 数回程度	半年に1回 数回程度	年に1回 数回程度	数年に1回 数回程度	全くない
家族と買い物や外食をする頻度	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
友人と学校・職場以外で会う頻度	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

(問 13) あなたは、次の人々とのような付き合いをしていますか。

	感染拡大前(2019年)					昨年(2022年)					今年(2023年)				
	家族と同じような付き合い	互いに相談したり、生活面でも協力する	日常的に立ち話をする	あいさつ程度の付き合い	全く付き合っていない	家族と同じような付き合い	互いに相談したり、生活面でも協力する	日常的に立ち話をする	あいさつ程度の付き合い	全く付き合っていない	家族と同じような付き合い	互いに相談したり、生活面でも協力する	日常的に立ち話をする	あいさつ程度の付き合い	全く付き合っていない
近所の人	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
学校や職場の人	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

（問 14）あなたは、次の人々を信頼できますか。

	感染拡大前(2019年)					昨年(2022年)					今年(2023年)				
	とても信頼できる	信頼できる	ある程度信頼できる	ほとんど信頼できない	全く信頼できない	とても信頼できる	信頼できる	ある程度信頼できる	ほとんど信頼できない	全く信頼できない	とても信頼できる	信頼できる	ある程度信頼できる	ほとんど信頼できない	全く信頼できない
同じ地域・町内の顔見知りの人	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
同じ地域・町内の他人で知らない人	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域外・町外の他人で知らない人	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

（問 15）あなたは、阿波おどり以外の活動で、次の三つの活動にどの程度参加していますか。

※地域等の行事、ボランティア、趣味等で阿波おどりに関するものや連の活動以外でお答えください。

	感染拡大前(2019年)							昨年(2022年)							今年(2023年)						
	週に1回以上	月に1回、数回程度	半年に1回、数回程度	年に1回、数回程度	数年に1回、数回程度	全く参加していない	活動が身近にない	週に1回以上	月に1回、数回程度	半年に1回、数回程度	年に1回、数回程度	数年に1回、数回程度	全く参加していない	活動が身近にない	週に1回以上	月に1回、数回程度	半年に1回、数回程度	年に1回、数回程度	数年に1回、数回程度	全く参加していない	活動が身近にない
地域の活動 (町内会の行事等)	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
ボランティア活動 や市民活動	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
スポーツ・趣味・学 習等の活動	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

◆最後に、あなたのことについてお聞きします。

この質問は統計的に処理するために使用するもので、個人を特定するものではありません。

(問 16) あなたの性別についてお答えください。

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

(問 17) あなたの居住地についてお答えください。

1. 徳島市	2. 徳島市以外の県内市町村	3. 県外
--------	----------------	-------

(問 18) 徳島市民の方は、現在のお住いの地区に○をつけてください。

1. 内町	2. 新町	3. 西富田	4. 東富田	5. 昭和	6. 渭東
7. 渭北	8. 佐古	9. 沖洲	10. 津田	11. 加茂名	12. 加茂
13. 八万	14. 勝占	15. 多家良	16. 不動	17. 入田	18. 上八万
19. 川内	20. 応神	21. 国府	22. 南井上	23. 北井上	

※地区が不明な場合には右の欄に

「町名」を記入してください。

町名

(問 19) あなたの現在の居住地での居住年数についてお答えください。

1. 3年未満	2. 3年～5年未満	3. 5年～10年未満
4. 10年～20年未満	5. 20年～30年未満	6. 30年以上

(問 20) あなたの学歴についてお答えください。

1. 中学校卒	2. 高等学校卒	3. 専修学校・短大卒
4. 四年制大学卒	5. 大学院卒	6. その他

問 21～問 27 はコロナウイルスの感染拡大前(2019年)と2022年末時点で分けてお答えください。

(問 21) あなたの世帯人数(生計を共にしている人数)を以下の()内に記入してください。

感染拡大前(2019年)	2022年末時点
あなたを含めて ()人	あなたを含めて ()人

(問 22) あなたの世帯の構成についてお答えください。

感染拡大前(2019年)	2022年末時点
1. 単身(あなた1人)	1. 単身(あなた1人)
2. 夫婦のみ	2. 夫婦のみ
3. 親と末子が18歳未満の子どもの二世帯世帯	3. 親と末子が18歳未満の子どもの二世帯世帯
4. 親と末子が18歳以上の子どもの二世帯世帯	4. 親と末子が18歳以上の子どもの二世帯世帯
5. 三世帯世帯	5. 三世帯世帯
6. その他(具体的に)	6. その他(具体的に)

(問 23) あなたの年齢についてお答えください。

感染拡大前(2019年)	2022年末時点
1. 10歳代	1. 10歳代
2. 20歳代	2. 20歳代
3. 30歳代	3. 30歳代
4. 40歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	5. 50歳代
6. 60歳代	6. 60歳代
7. 70歳代前半	7. 70歳代前半
8. 75歳以上	8. 75歳以上

(問 24) あなたの主な職業についてお答えください。

感染拡大前(2019年)	2022年末時点
1. 会社などの役員	1. 会社などの役員
2. 会社などの正社員(会社役員を除く)・正規の公務員・教員	2. 会社などの正社員(会社役員を除く)・正規の公務員・教員
3. 自営業者(手伝いを含む)	3. 自営業者(手伝いを含む)
4. 非正規雇用(パート・アルバイト、契約・派遣社員)	4. 非正規雇用(パート・アルバイト、契約・派遣社員)
5. 仕事をしていないが、求職中	5. 仕事をしていないが、求職中
6. 仕事をしておらず探していない(退職など)	6. 仕事をしておらず探していない(退職など)
7. 専業主婦・主夫	7. 専業主婦・主夫
8. 学生	8. 学生
9. その他(具体的に)	9. その他(具体的に)

(問 25) あなたの婚姻状況についてお答えください。

感染拡大前(2019年)	2022年末時点
1. 既婚	1. 既婚
2. 配偶者と離別・死別	2. 配偶者と離別・死別
3. 未婚	3. 未婚

(問 26) あなたの住まいについてお答えください。

感染拡大前(2019年)	2022年末時点
1. 持家 一戸建て	1. 持家 一戸建て
2. 持家 集合住宅(マンション・アパート等)	2. 持家 集合住宅(マンション・アパート等)
3. 借家 一戸建て	3. 借家 一戸建て
4. 借家 集合住宅(マンション・アパート等)	4. 借家 集合住宅(マンション・アパート等)
5. その他(具体的に)	5. その他(具体的に)

